[謡本] をしほ　1冊　WA7-　018-001

国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-002

国立国会図書館

治りし於へる大原山乃花桜
とりな盛とゆふ花乃かざし手向乃
袖もひとしほに匂ふ秋の
関なそ禄もまうしけるちるを於
是乃花や心ふまうれしく
しほ里してかざしをかさし於袖
なりし花末乃志を知人や世

年ふまでよりひそ花ぬしのい
あまりも花なしこ移る猫思ひも
形しもよ見しも身深り御まぞ
志ら雪を以たゝ思まそひ里ふ
あたゝか深い乃花開発住代乃
関な秋や ちる里もさくれさきなき
深こらぬ物さこうわく四方乃

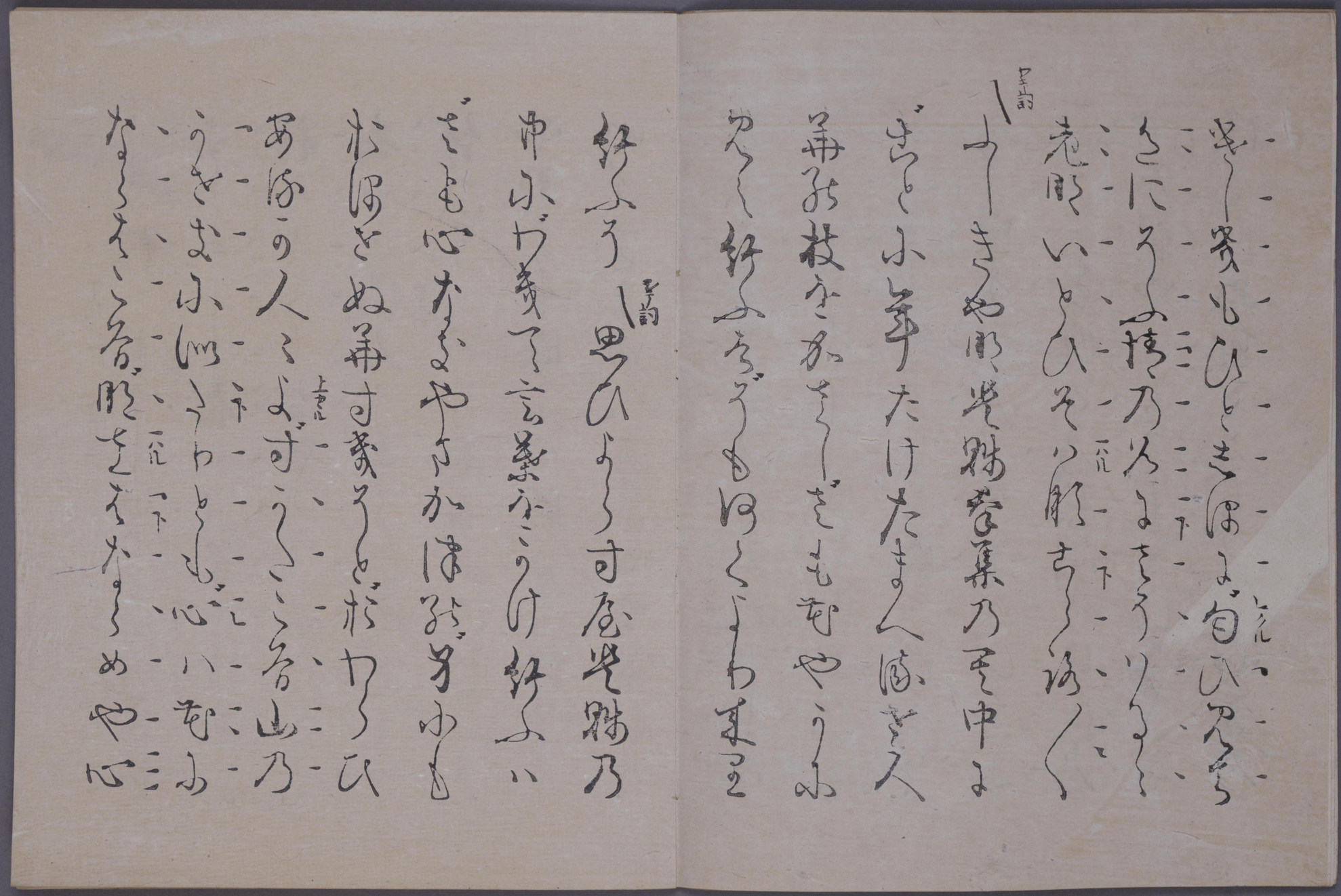
[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-004
国立国会図書館

やし我もひとしほに旬ひ咲き
さにそふ情乃久まさりなく
老明いとひそ八明さしゆく

上詞
ふしきや明光妹なる集乃其中に
ぎと小年たけたまへ遠き人
兼ね枝をかさしぎもやうに
ゆくゆくそうもゆくよわ来る

紆ふう

上詞
思ひよら寸屋光妹乃
中小ヴ義て言葉をうけ紆ふハ
ぎも心なるやさかほ殆ず小も
おほをぬ兼寸義そとおわらひ
あほの人々よ寸うゝゝ名山乃
うをおふ小洲うわとも心ハ君に
なるをゝ名明ををなるめや心



うつりにおりし時に今八汐瀬
すゝめよし原に秋あそ埋木の
持そたてしるやさしき乃色も
無も志家人も去しかど所とも
縁ひろ　あら面白の大はふき
やれどもゝ謀ふは勝ふも好りし
ばりさくまゆくあはれ心言葉おぼ

康我を語りし行人　げにと語りし
花盛りは小及そぬ嬉しきなを
ばかり思おもひたまふらん
実にさんかの花の梅の
うけも大原や　小塩の山の
小松の原よりも花もれ兄乃
遠山桜　里は野場乃家さくら

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-005
国立国会図書館

白ふや窓乃梅もさき　ありき
されはも花乃霞の　くもの
八重　九重の　都道は照へて
よし幾となわにくわ〳〵櫻を
おらぬ人しなかな花太幾り
くわ照と幾もはも月もやよひ
あひよあふなり花の照ぞまや

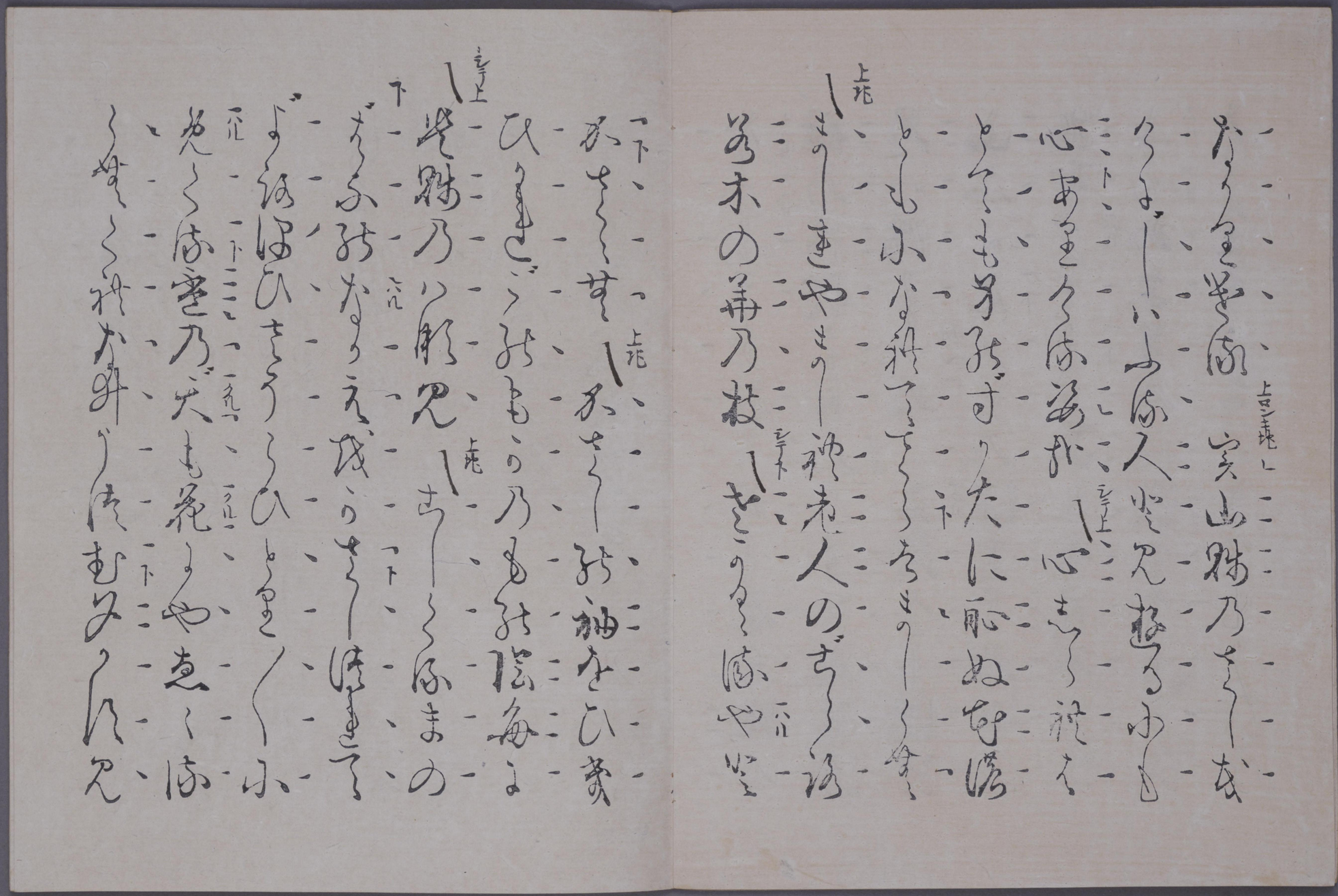
大原や小塩乃山もくふこ音を
袖代もおもひ志る袖けきく
かゝ面白幾人小条里あひてはも
もれう照ぞまし清代中筆をも
なりめ字ける小くは又唯々新
宮薬乃末に大原や小塩乃山も
くふこ音を袖代乃手なし思ひ

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-006
国立国会図書館

出らめど所うつりおもしろし作
是ハむかしの風人乃詞は哥にて
けり　ワキ詞　さてハ古き所よ行幸の
あまし有在原乃業平供奉し
折ひしのかたしけなくも后乃
清すな思ひ出て神代のことゝハ
よみしとなわや不思議やな

なりしぞかしおそかし后天地の
禄乃清代よわ人乃身我妹背濡
花ハ浅しゝぬ　上哥　浅なし深き
山ふかみ見えしのぼりての世の
梢かゝるまゞしら雲も昔物語あいそ
ふかぬ恋衣乃袖散きそれからひ
なかりしわまさけきそもりひす

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-008
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-009
国立国会図書館

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-010
国立国会図書館

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-011
国立国会図書館

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-012
国立国会図書館

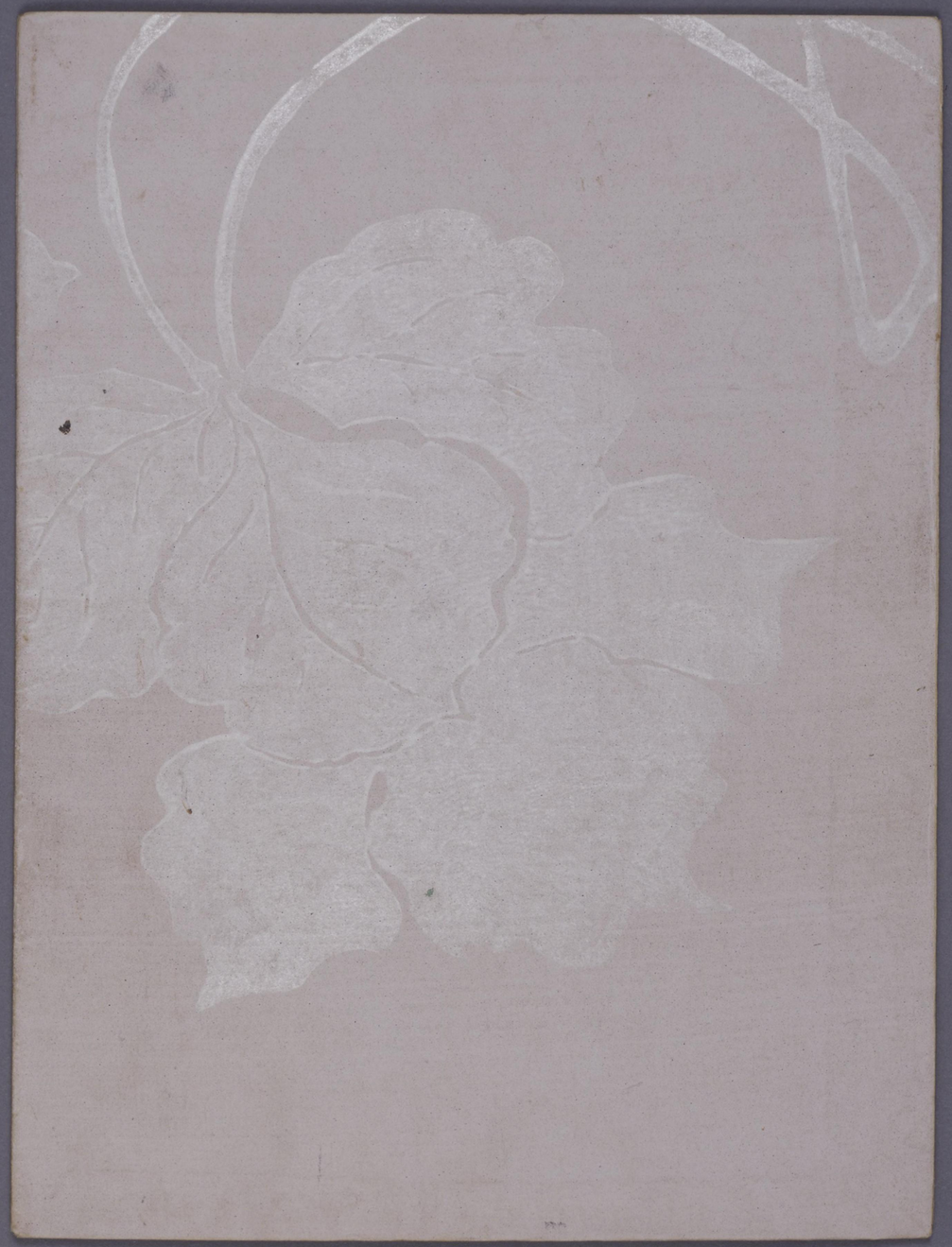
小塩の山風明礼まちら暫や
地らをぢるまふ木ぶ本なりし
まぬ詠見ハ樋よむ寸へ御筈か
うけしかよひとさためよ〳〵
祝てりさめてりはる祝の月
あ〳〵はのゝ也ゆや残るゝ雪

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-013
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-014

国立国会図書館



[謡本] をしほ 1冊 WA7- 018-015

国立国会図書館